

ジェネリック医薬品(後発医薬品)の 使用促進について

当院ではお薬代の負担が軽くなり、医療保険財政改善に資するものとして、
入院および外来においてジェネリック医薬品(後発医薬品)を積極的に採用しています。
ご不明な点がございましたら、主治医または薬剤師にお尋ね下さい。

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、新薬(先発医薬品)の特許が切れた後に製造販売される、**新薬と同一の有効成分を同一量含み、効き目が同等な医薬品**のことです。

その先には、ひろがる笑顔。

安心・信頼

Anshin Shinrai

国の厳しい審査をクリア

ジェネリック医薬品は、国の厳しい審査をクリアしたものが承認されています。有効性や安全性、品質も新薬と同等です。

低価格で個人負担が軽くなる

新薬と同じ有効成分を使用し、開発費用が抑えられるので、低価格です。医療の質を落とすことなく、経済的負担が軽くなります。

未来

Mirai

医療費を有効活用

個人負担の軽減だけでなく日本全体の医療費の効率化が可能です。その医療費は新技術や新薬の導入に活用できます。

医療保険制度を次の世代に引き継ぐ

少子高齢化が急速に進む中、現在の優れた医療保険制度を維持し、子どもたちや次の世代に引き継いでいくことに貢献します。

学研都市病院では、ジェネリック医薬品(後発医薬品)を積極的に採用し
後発医薬品体制加算を算定しています。



医療法人 社団医聖会
学研都市病院